



www.dahonbikes.com

OWNER'S MANUAL



部品ガイド

- | | |
|----------------|-------------|
| 01. ホイール | 09. フレーム |
| 02. リアディレイラー | 10. ヘッドセット |
| 03. チェーン | 11. ハンドルポスト |
| 04. クランクセット | 12. ハンドルバー |
| 05. ペダル | 13. ブレーキレバー |
| 06. シートポスト | 14. フォーク |
| 07. サドル | 15. ブレーキ |
| 08. ボトルケージマウント | |



メモ： 本マニュアルは参照用のみに使用してください。ダホンはお客様の自転車
が認証された自転車技士および自転車安全整備士により定期的に
整備されることを推奨します。

セクション1. 乗る前の注意	04
A. 自転車各部の体に合った調整	04
B. 安全	04
C. マニュアル	04
セクション2. 安全	05
A. 基本	05
B. 安全運転	05
C. 雨天運転	05
D. 夜間運転	06
セクション3. 各部の体に合った調整	07
A. サドル位置	07
B. ハンドルバー高さおよび角度	07
セクション4. 技術	08
A. 車輪	08
1. クイックリリース型前輪の装着方法	08
2. クイックリリース型後輪の装着方法	08
B. ブレーキ：リムブレーキおよびディスクブレーキ	09
1. ブレーキの操作方法及び機能	09
2. ブレーキの使用法	09
C. 変速装置	10
1. 外装ギア変速の内容	10
2. 変速方法	10
3. 後変速機	10
4. 前変速機	10
5. ギアの選択	11
D. 内装変速機の使用法	11
1. 内装変速機の変速方法	11
2. ユーザーが使用するギアの選択	11
E. チェーン	12
F. ペダル	12
G. 自転車を持ち運びする場合	13
セクション5. 修理およびメンテナンス	14
修理やメンテナンス	14
1. 乗車初期のメンテナンス	14
2. 長時間の走行や悪条件下での走行後	14
3. 長時間や悪条件下の走行後、または乗車時間が 10～20時間を超えた場合	14
セクション6. 品質保証	16
セクション7. 各部品の締め付けトルク値	17



乗る前の注意

- ※ すべての折りたたみ自転車は良好な路面での使用のためのみにデザインされております。
- ※ 移動での使用範囲外の、ジャンプやスタントなどのトリック（自転車に負担のかかる行為）は行わないで下さい。
- ※ 自転車の使用を誤ることにより、構成部品の機能が著しく低下し、怪我の原因となる場合があります。

自転車各部の体に合った調整

- ※ 事故を防ぐために、ユーザーの体のサイズに合わせて自転車のサイズを正しく調整することを心がけてください。測定を怠ることにより、運転中に自転車のコントロールを失ってしまい、怪我の原因となる場合があります。
- ※ サイズに関する質問は以下のセクション 3. A の手順に従うか、または DAHON 製品販売店までご連絡下さい。
- ※ サドル高さを調整する際に、セクション 3. A に表示されている「最小挿入」ガイドを参照してください。
- ※ サドルおよびシートポストがきちんとクランプされていることを確認して下さい。きちんと締められたサドルはいかなる方向へも移動しません。セクション 3. A を参照して下さい。
- ※ ユーザーの体型に合わせてステムおよびハンドルバーを調整してください。詳細はセクション 3. B を参照してください。
- ※ 個人のお好みに合わせてブレーキを調整してください。ブレーキレバーは届きやすく、つかみやすい場所にあり、自転車を完全に停止させる能力を持っていないければなりません。
- ※ 最初の試運転の前に、すべての機能および特徴を確認して下さい。自転車の機能に関するすべての質問や情報は DAHON 製品販売店までご連絡下さい。

安全

- ※ ヘルメットー自転車に乗車する際はユーザーの頭のサイズに合ったヘルメットを着用してください。
- ※ 交通ルールー周囲の交通環境にご注意下さい。歩道通行時には歩行者を優先し車道においては自動車に注意するなど、すべての法規、条例、道路管理者の指導に従うようにしてください。
- ※ 体重制限ー他に表記がない限り、乗車人員の体重および手荷物の重さ合計は 80kg にて設計されておりますので、これを越える荷重がかかる場合は各部の消耗、老化が大きくなりますので品質保証が行えなくなる場合があります。
- ※ 車輪クイックリリースー車輪クイックリリースの正しい使用方法を表記しているセクション 4.A.1 および 4.A.2 の図を参照してください。車輪クイックリリースの誤った使い方により車輪が不安定または固定できなくなってしまう恐れがあり、これにより自転車から外れてしまい、怪我または死亡の原因となる場合があります。
- ※ リムのメンテナスーリムの寿命を延長するため、常にきれいに保ち、ブレーキ接触部分が破損していないことを確認することが重要です。過度の磨耗がないことを確認するためにリムを定期的に検査することを推奨します。リムの安全性に関して質問がある場合、DAHON 製品販売店にて検査を行ってください。
- ※ サドルおよびハンドルバーーサドルおよびハンドルバーステムが自転車のセンターラインと平行であることを確認して下さい。正しく設置されたサドルおよびハンドルバーが動かないよう適正なトルクで固定されています。
- ※ ハンドルバーエンド（該当する場合）ーバイクにハンドルバーエンドが装備されている場合、グリップがしっかり固定されていることを確認してください。正常に固定されたハンドルバーエンドは過度に動くことはありません。ハンドルバーエンドの交換または管理に関して質問などがある場合、DAHON 製品販売店までご連絡下さい。

メモ：

TT バー、エアロバー、バーエンドまたはトライアスロン式クリップオンバーを装着する場合、運転中にブレーキ操作またはステアリング操作が遅れ、危険な状況になる場合があります。

マニュアル

ダホンサービスガイドはあくまでガイドラインとして使用してください。ダホン製品のメンテナンスなどは DAHON 製品販売店にて行うことを推奨します。



警告：

ダホンは、認証されていない変更 / 製品の改造、交換、仕様変更などによって生じた製品の誤作動、および不具合による怪我または事故に対し責任を持ちません。



安全

基本



警告：

すべての交通法に従い、適切な備品を使用することはユーザーの責任です。これはサイクリングに適した服装および自転車のメンテナンスを含みます。

すべての地域の自転車交通法および規制を確認して下さい。自転車の照明、免許、道路 / 歩道での運転、自転車レーンの使用、ヘルメット装着に関する法規条例および特別な自転車交通法を確認して下さい。地域の法律を熟知し、従うことはユーザーの責任です。

- ※ 自転車に乗る前に、すべてが正常に作動しており、部品が正しく調整されていることを確認して下さい。
- ※ 自転車の操縦方法を参照して下さい：
ブレーキ（セクション 4.B）；
ペダル（セクション G）；
変速方法（セクション 4.C）。
- ※ ペダルをこぐ際に体のいかなる部分もチェーンリングに当たらないようにご注意ください。サイクリングに適さない服装を着用することでも怪我の原因となる場合があります。

安全運転

- ※ 運転中は他の人と道路または通路を共有していることを念頭においてください。例：自動車およびバイクの運転手、歩行者、他の自転車通行者。
- ※ 自衛を心がけた運転を行ってください。周りの人間は自分が見えないものとして運転し、予想できない事故にも備えるように心がけてください。
- ※ 常に周囲に注意を払ってください。以下の要素に注意し対応して下さい：
 - > すべての方向のすべての種類の車両
 - > 障害物の予想できない動き
 - > 周囲の歩行者
 - > 周囲の子供または動物
 - > 道路のくぼみ、凸凹した表面、砂利道、工事中および瓦礫などがある道路等の自転車通路または塗装された道路の欠陥。
 - > 危険、警告表示および優先道路の標識
- ※ 使用できる場合は指定された自転車レーンにて、常に交通標識表示方向に運転してください。

- ※ すべての停止標識および信号を認識し、適切な場合に停止するようにしてください。
- ※ 完全に停止する際や、交差点で前進する前に左右両方向を確認するようにして下さい。
- ※ 曲がったり停止したりする際は定められた手信号を使用してください。
- ※ ヘッドフォンを着用した状態で運転しないで下さい。
- ※ 二人乗りをしないで下さい。
- ※ 運転中に他の車両につかまったりしないで下さい。
- ※ 運転手の優先通行権を管理する規定は自転車通行者にも適用されます。自転車通行者は常に道を譲る準備をしなければなりません。
- ※ 酒類・薬物影響下で運転しないで下さい。
- ※ 視界の妨げとなる悪天候下で運転することは避けてください。夜明け、日暮れまたは夜間。そのような条件下では事故のリスクが高くなります。

雨天運転



警告：

雨天は自転車通行者および道路を共有するその他の車両の静止摩擦、ブレーキおよび視界を妨害します。雨天下での事故のリスクは急激に高くなります。

雨天下では、ユーザーのブレーキの停止性能（メモ：気候条件は道路を共有するその他の車両にも影響します）は急激に低くなります。このような条件下では、速度をコントロールしにくいので、自転車の操縦が効かなくなってしまう場合があります。雨天下で速度を落とし、安全に停止できるように、ゆっくりと運転し、ブレーキを早めにかかる様にして下さい。（セクション 4. B）

夜間運転

自転車通行者は夜間での運転の際に特に注意を払う必要があります。暗中で自転車通行者は運転手および歩行者にとって非常に見づらく、多くの場合、夜間での運転は日中での運転よりも危険を伴います。

児童は夜明け、日暮れまたは夜間に運転させないことを推奨します。

夜明け、日暮れまたは夜間に運転することのリスクを理解した上で十分注意を払ってください。怪我のリスクを削減するために悪条件下での運転の際には適切な服装および特別な備品を選択することが重要です。夜間での安全装備に関する情報はDAHON製品販売店にてご相談ください。



警告：

前照灯およびリフレクターを装備して下さい。前照灯およびリフレクターが使用されていない場合、自転車通行者はその他の自転車通行者および運転手からほぼ見えない状態となってしまいます。

夜間に運転する場合、前照灯およびリフレクターなどの必要な装備を使用することによりユーザー自身が他の人から見やすいようにしてください。不十分な前照灯およびリフレクターにより重大な事故または死亡につながる場合があります。走行中の自転車通行者のために、リフレクターは周囲の車両や照明の光を反射することによりユーザーを見やすくし、認識しやすくします。



警告：

リフレクターおよび取付ブラケットは所定の位置にあり、また、きちんと固定されていることを確認するために定期的に検査する必要があります。ゆるいまたは曲がって破損したリフレクターを交換する際には販売店までご連絡下さい。すべての夜間運転に関する法規条例に従っていること確認して下さい。以下の推奨項目を参照してください。

- ※ バッテリーまたはダイナモタイプのヘッド / テールライトを購入し、装備してください。ヘッドおよびテールライトの可視性に関する法規、条例を確認して下さい。
- ※ ユーザーの可視性を増長するために明るい色の反射する服装およびアクセサリを着用することは重要です。着用可能で適切な反射製品には多くの種類があります：ベスト、腕章、脚帯、ヘルメットのストライプ、と体および / または自転車に付属された方向指示器。
- ※ 服装またはその他の物体がリフレクターおよび照明を妨害していないことを確認して下さい。
- ※ ユーザーの自転車が夜明け、日暮れまたは夜間の運転のためのリフレクターを装備していることを確認して下さい。

夜明け、日暮れまたは夜間中の運転

- ※ ゆっくりと運転して下さい。
- ※ 特に暗い場所および渋滞または周囲の車両の速度が速い道路での運転は避けてください。
- ※ 道路上の障害物を避けてください。

渋滞での運転は：

- ※ 注意を払って対応してください。自転車は他の運転手が見やすい場所で運転してください。
- ※ 常に警戒してください。
- ※ 自衛的に運転し、予想できない状況にも備えてください。
- ※ ユーザーの販売店に連絡し、交通安全教室または自転車交通安全に関する本についての情報を入手してください。

※ 各部の体に合った調整

サドル位置

正しいサドル位置は自転車の良好な性能および快適感を得るための要因です。サドルの使用感が悪い場合、DAHON 製品販売店にてご相談ください。

サドルは3つの方向に調整できます。

※・上下の調節。

正しいサドル高さに調整してください。

- > サドル上に座ります。
- > ペダルに足をかけます。
- > ペダルに足がかけてある状態で、かかとが下を向き、クランクアームがシートチューブと平行になる状態まで回転します。

脚を完全に伸ばすことが出来ない場合、サドル高を高くを調整する必要がある場合があります。足をペダルに伸ばす際に腰が不安定な場合、サドル高を低くする必要がある場合があります。サドルが低すぎる場合、かかとがペダルにかけてある場合に脚が膝で曲がります。サドルの高さが正しい場合、シートポストが最小または最大挿入位置マークを超えないことを確認して下さい。



警告：

シートポストが最小または最大挿入マークを越えた場合、シートポストが破損し、コントロールが効かなくなり転倒する恐れがあります。

- ※・前後調整—サドルは、ユーザーの自転車上の最適なすわり心地を実現するために前又は後方向に調整することが出来ます。運転中の最適なすわり心地を得るため、販売店にて連絡しサドルを調整してください。

- ※・サドル角度調整—ほとんどの人は水平サドルを好みますが、乗り手の中には上向き又は下向き角度の鞍鼻を好む方もいます。販売店にてユーザーの好むの乗り心地に調整することが出来ます。

メモ：

サドル位置の小さな変更は運転中のパフォーマンスおよびすわり心地に大きく影響します。最適なサドル位置を発見するために、数回の調整を行うことで位置を変更してください。

メモ：

自転車にサスペンションポストが使用されている場合、定期的に販売店にて点検を行うようにしてください。



警告：

乗車する前にサドルが固定されていることを確認して下さい。固定力の弱いサドルクランプ又はシートポストバインダーは自転車の破損の原因となる場合があります。正しく締められたサドルはいかなる方向へも動きません。サドル固定部分がきちんと締められていることを定期的に確認して下さい。検査を怠ることにより、操縦が効かなくなったり、怪我の原因となる場合があります。

ハンドルバー高さおよび角度



警告：

ステムの最小挿入マークはヘッドセット上に見えてはなりません。ステムが最小又は最大挿入マークを越えた場合、自転車の破損又はステアリングコラム破損の原因となることがあり、これにより運転中に操縦が効かなくなり転倒にいたる恐れがあります。

メモ：

DAHON 製品販売店にてハンドルバー又はバーエンド角度を変更することが出来ます。



警告：

ステム固定ボルトが十分に締められていない場合、操縦を妨げる原因となり、ユーザーの操縦が効かなくなり転倒にいたる恐れがあります。これを防ぐために、自転車の前輪を脚の間に挟み、ハンドルバーを左右に動かす方法で固定されているかどうかを確認して下さい。

以下の場合にボルトはきちんと締められておりません：

1. 前輪を固定した状態でステムが左右に動く場合、
2. バーエンドがステイに対し回転する場合、又は
3. バーエンドがハンドルバーに対し回転する場合

車輪

クイックリリース型前輪の装着方法



警告：

自転車にディスクブレーキが装備されている場合、ディスクをキャリパーに挿入する際にディスク、キャリパー又はブレーキパッドを破損しないように注意してください。ディスクがキャリパーにきちんと挿入されていない限り、ディスクブレーキの操縦レバーを操作しないで下さい。図4.Bも参照してください。

- ※ クイックリリースレバーをオープン位置まで操作します。
- ※ ステアリングが前を向いている状態で、車軸がフォークドロップアウト（フォークブレードの先端であるスロットの上部）にしっかりと固定するように車輪をフォークブレードの間に挿入します。
- ※ クイックリリースがオープン位置の状態ではレバーを締める方向に操作します。フォークドロップアウトに対ししっかりと固定されるまで左手でナットを調整します。
- ※ 同時に、リム部分がフォークの中央部に位置するよう調整します。クイックリリースレバーを動かし、クローズド位置まで回します。レバーはフォークブレードと並行もしくは、進行方向に向かって後ろ向きに固定されていなければなりません。



警告：

車輪の前輪および後輪のしっかりとした締め付けは一定の力を必要とします。後輪の締め付け力を確保する際に、てこの原理でフォークブレードの周りに指を巻きつけ、手のひらでレバーを押さえつけることでクイックリリースを完全に閉じることが出来ます。固定力が弱い場合は再度レバーを開き、張力調整ナットを時計回りに回し、正しく固定されるまで締め付けの工程を行います。

- ※ レバーがフォークブレードと平行な状態まで操作ことが出来ない場合、レバーをオープン位置に戻します。反時計回しに張力調整ナットを回転し再度締め付け工程を行います。
- ※ ブレーキパッドとリム間のクリアランスを正常に戻すために、ブレーキのクイックリリースメカニズムを作動させてください。自転車の車輪を回し車輪がフレーム内の中心にあり、ブレーキパッドが接触していることを確認します。最後に、ブレーキレバーを操作し、正しく制動できることを確認します。

クイックリリース型後輪の装着方法

- ※ リアディレイラーが外側にハイギア位置にある事を確認します。
- ※ 右手でディレイラーを引き上げます。
- ※ クイックリリースレバーをオープンポジションにします。この時、レバーの位置はディレイラーおよびスプロケットの反対側にある事を推奨します。
- ※ 上部チェーンを最少ギアにかけます。その後、車輪を後エンド内に挿入し、左右ともエンドスロット奥まで入った事を確認します。
- ※ クイックリリース調整ナットを締め込み、レバーをクローズ方向へ操作する事で車体にホイールがしっかりと固定できる状態にします。この時、レバーがフレームのチェーンステーもしくはシートステーと平行であり完全に閉まっている事を確認します。レバーを締め付ける際に、フレームパイプに指を巻き付け掌でレバーを操作すると適切な締め付け力が得られます。

ブレーキ：リムブレーキおよびディスクブレーキ

適切に調整されていないブレーキや摩耗したブレーキパッドを使用して運転する事は危険を伴い、重大な怪我もしくは死亡に至る場合があります。ブレーキを急制動させたり強く制動させると、車輪がロックし自転車の操縦が効かなくなり転倒する場合があります。特に前ブレーキを上記のように使用すると、ハンドルバーを飛び越えるように乗車人員が路上に投げ出されてしまい、重大な怪我もしくは死亡に至る場合があります。

ディスクブレーキやVブレーキ型のブレーキは非常に強力ですので、ブレーキ操作には十分な注意を払ってください。ディスクブレーキは、下り坂等で長時間使用する事によりディスクローター、ディスクパッド、ディスクキャリパー等が非常に高温になる事がありますので、完全に冷えるまでブレーキ各部には触れないでください。操作方法はブレーキメーカーの説明書を参照いただき、メンテナンス、点検等は DAHON 製品販売店にて行ってください。

ブレーキの操作方法及び機能

左右どちらのブレーキレバーが、前後どちらのブレーキを制御する事を事前に理解しておく事は非常に重要です。日本仕様の DAHON 製品は、右レバーが前ブレーキを制御し、左レバーが後ブレーキを制御する状態で生産されております。乗車時にブレーキレバーを握ることが出来、ブレーキが確実に効く事を確認してください。

メモ：

欧米などでは日本とは反対に、右レバーが後ブレーキを制御し、左レバーが前ブレーキを制御する構造になっているように、ブレーキは各国の規定に従い調整される必要があります。

ブレーキの使用方法

自転車のブレーキでリムを制動面とするタイプは、ブレーキパッドとリム制動面の間に摩擦を発生させる事で制動を行っています。適切な制動力を得る為にリム制動面およびブレーキパッドの汚れを無くし、潤滑剤やワックス等や異物が付かないようにしてください。ディスクブレーキを使用するには、フレームおよびフォークに専用のマウント台座が必要になります。また、使用するホイールにもディスクローターが付けられる専用のハブを使用する必要があります。このブレーキは専用台座に取り付けられたディスクキャリパーがホイールのディスクローターを強力な力で挟み込むことで制動力を得ています。ディスクブレーキの制動力は天候に左右される事が少なく、急な下り坂や濡れた路面、不整地でも安定した制動力を発揮します。

ブレーキは自転車の速度を制御したり停止するために設計されております。車輪の最大制動力は車輪がロックする寸前に発生します。それを超えてもなお制動を続けると車輪がロックしタイヤが滑り、操縦不能になり転倒する恐れがあります。

メモ：

オイルやグリス等の潤滑剤がブレーキパッド、リム制動面、ディスクローター等に付着しないようにしてください。摩耗したブレーキパッド等を交換する場合は、各ブレーキに適合する製品を使用してください。

変速装置

変速装置については、外装ギア変速、内装ギア変速の2種類があります。また、2つの変速装置を組み合わせた内外装ギア変速もあります。

外装ギア変速の内容

自転車が外装変速ギアを有している場合、下記のパーツが車体に装備されています。

- > 後スプロケット
- > 後変速機
- > 前が多段ギアの場合は、前変速機
- > 前後の変速機に対応するシフトレバー
- > 1枚から3枚の前ギア
- > チェーン

変速方法

シフトレバーには操作方法の違いにより数種類の形式があります。レバーシフト型、ツイストシフト型、トリガーシフト型、押しボタンシフト型、各型の組み合わせた型、ブレーキレバー組み込み型等がありますので、使用方法については販売店にご相談ください。

シフトダウンはペダルが軽くなる「軽い」または「低速」ギアへの変速操作です。シフトアップはペダルが重くなる「早い」または「高速」ギアへの変速操作です。後ギア変速方法走行中上り坂になった場合シフトダウンを行います。後ギアは使用中のギアからより大きなギアへと変更します。下り坂や速度を上げたい場合はシフトアップを行います。後ギアは使用中のギアより小さなギアへと変更します。前ギア変速方法シフトダウンを行う為には、前ギアを使用中のギアより小さなギアへと変更します。シフトアップを行う為には、前ギアを使用中のギアより大きなギアへと変更します。

シフトレバーを操作し変速を行う際には、クランクが前進方向に回転しチェーンに駆動力がかかっている事が必要になります。

メモ：

外装変速ギアは、自転車が前進する方向にクランクが回転する場合にのみ、変速する事ができます。

後変速機

右シフトレバーは後変速機を操作します。後変速機の主な機能は、6枚から10枚ある後ギア間でのチェーン移動を行う事にあります。小さな後ギアを選ぶ事により、高いギア比が得られます。ペダルをこぐ際に大きな力が必要になりますが、クランクの1回転で進む距離は長くなります。大きな後ギアを選ぶ事により、低いギア比が得られます。ペダルをこぐ際の力は軽減されますが、クランク1回転で進む距離は短くなります。後変速機にある2本のストロークアジャストボルトは変速機の作動範囲を規制する役割を担っています。H側のボルトを適正に調整する事で、最少ギアからチェーンが、変速機側に外れる事を防ぐことが出来ます。L側のボルトを適正に調整する事で、最大ギアからチェーンが、スポーク側に乗り越えて外れる事を防ぐことが出来ます。チェーンを小さなギアから大きなギアに移動させる事でシフトダウンが行えます。チェーンを大きなギアから小さなギアに移動させる事でシフトアップが行えます。変速を行う為には、自転車が前進する方向にクランクを回転させる必要があります。

前変速機

左シフトレバーは前変速機を操作します。前変速機の主な機能は2枚もしくは3枚ある前ギア間でのチェーン移動を行う事にあります。小さな前ギアを選ぶ事により、低いギア比が得られます。ペダルをこぐ際の力は軽減されますが、クランク1回転で進む距離は短くなります。大きなギアを選ぶ事により、高いギア比が得られます。ペダルをこぐ際に大きな力が必要になりますが、クランク1回転で進む距離は長くなります。前変速機にある2本のストロークアジャストボルトは変速機の作動範囲を規制する役割を担っています。H側のボルトを適正に調整する事で、最大ギアからチェーンを乗り越えて、右クランク側に外れる事を防ぐことが出来ます。L側のボルトを適正に調整する事で、最少ギアからチェーンが、車体側に外れる事を防ぐことが出来ます。チェーンを小さなギアから大きなギアに移動させる事でシフトアップが行えます。チェーンを大きなギアから小さなギアに移動させる事でシフトダウンが行えます。変速を行う為には、自転車が前進する方向にクランクを回転させる必要があります。



警告：

変速機の調整が完全に行われていない場合は、いかなる場合も最大ギアもしくは最少ギアに変速機を移動させないでください。チェーンが最大ギアとスポークの間に落ち込んだり、最少ギアとフレームエンドの間に落ち込んだりする事により、自転車の操縦ができなくなり転倒に至り、重大な怪我もしくは死亡に至る恐れがあります。

ギアの選択

大きな後ギアおよび小さな前ギアの組み合わせは、急な上り坂等で使用します。小さな後ギアおよび大きな前ギアの組み合わせは、下り坂やスピードを出す場合に使用します。走り初めのギア位置は、乗車される人員の脚力にあったギアを選択してください。走り初めはある程度軽いギアを選択し、速度が上がるにつれてシフトアップを行い適度なクランク回転数を保つようにしてください。

ギアシフトの練習は、障害物のない場所で行ってください。上り坂の手前でシフトダウンを行う等、ギアシフトを行うタイミングを練習してください。ギアシフトが行えない場合は、変速機の調整に問題がある場合がありますので、DAHON 製品販売店にお持込の上、点検調整を行ってください。

内装変速機の使用方法

自転車は、後ハブ内部に内蔵された変速ギア装置を持った内装ギア変速を有している場合、下記のパーツが車体に装備されています：

- > 3 段、5 段、7 段、8 段、11 段、12 段等の変速段数を有した内装ギアハブ。
- > シフトレバー
- > シフトワイヤー
- > 前ギア
- > 後ギア
- > チェーン

内装変速機の変速方法

停止中に変速を行う場合は、クランクに力が掛かっていない状態でシフトレバーを操作し、適正なギアを選択します。ギアを選択したのちにクランクに力を加え自転車を発進させます。走行中に変速を行う場合は、クランクの回転を止め、シフトレバーを操作し変速操作を完了した後、クランクに力を加えます。クランクに力が加わった状況ではシフトレバーが操作できません。

ユーザーが使用するギアの選択

低速ギア（1 や L 等）は急な上り坂等で使用します。高速ギア（変速ハブの段数によって異なります。3、5、7、8、11、H 等）は下り坂やスピードを出す場合に使用します。

チェーン

シングルスピード、および後ギアが1枚の内装ギア変速装置を有する自転車は、「1/2 × 1/8」規格のチェーンを使用しています。

例外的に 1/2 × 3/32 規格の場合もあります。チェーンの張りを調整する場合、チェーンの張りに緩みが無い位置まで、後輪を車体より後方向へ引きながら固定します。この時クランクの回転によりチェーンに緩みが出たり強く張ったりする場合は、前もしくは後のギアの真円度が不足している状況が考えられますので販売店にご相談ください。

外装ギア変速を装備している自転車の多くは「1/2 × 3/32」規格のチェーンを使用しています。チェーンのリンク部分が摩耗している場合、後ギアとチェーンのかみ合わせが悪くなり、歯飛びが起こる場合があります。チェーンの摩耗が進んでいるかどうかは、販売店にて点検する事を推奨します。摩耗したチェーンを交換する場合、前側のギアに比べ大きな負荷のかかる後輪側のギアを同時に交換する必要があります。

ペダル

・トウクリップ、トウストラップを装備しているペダルは、足の踏面がペダルの最適な位置に誘導できる構造になっています。トウストラップを締める事により足がペダルの最適な位置に固定され、ペダリング効率が高くなりますが、締めこんだ状態から足を解放する為の操作を、障害物のない場所で練習する事が重要です。

・ビンディングタイプのペダルは、ペダルのビンディング部に専用のシューズ底に装備されているクリートをはめ込む事により、足をペダルに固定します。この場合、ペダルへシューズを取付る場合、クリート部分をビンディング部にカチッと音がするまで押し付ける事により固定されます。取り外す際は、足首を捻る等の操作で安全に取り外すことが出来ます。(ペダルの種類によって使用方法が異なりますので、詳しくは販売店にてご相談ください)

自転車を持ち運びする場合

16 インチから 26 インチの折り畳み自転車は、下記の方法で持ち運ぶことができます。

✿ A

折り畳んだ状態にある自転車のサドルや車体を持つことで簡単に自転車を移動させる事ができます。

✿ B

折り畳んだ際に前後輪が回転できる状態になっている車種は、シートポストを下げずに車体を折りたたんだ状態で、サドルを持ち前方に押していく事が可能です。この場合、路面が平坦なことが条件になります。

✿ C

折り畳んだ自転車を専用のバッグ、またはカバーに収める事で公共の交通機関に持込む事が可能になります。(航空機は事前にご確認ください。また、一部交通機関には持ち込めない場合もありますので、事前にお問い合わせください。)

✿ D

長距離を輸送する場合や航空機を利用する場合は、エアポーターケースを使用する事を推奨します。(ただし、20 インチを超える自転車や、ロックジョーシステムの自転車は適合しません。)



修理およびメンテナンス



警告：

技術の革新に伴い、自転車の構成部品は年々変化してきています。本マニュアルは、自転車を修理する場合やメンテナンスを行う場合に必要な情報を記述しています。事故や怪我のリスクを最小限に抑える為には、DAHON 製品販売店において自転車の修理やメンテナンスを行う事が重要です。定期的なメンテナンスの時期は、使用条件によって異なってきますが、最低でも1年ごとの定期点検を行っていただく事を推奨します。メンテナンス内容などについては、販売店にてご相談いただきますようお願いいたします。



警告：

自転車の修理やメンテナンスには専門的な知識と専用の工具が必要になります。販売店においての点検、修理、メンテナンスが完了しない限り、自転車には乗車しないでください。適切な点検、修理、メンテナンスが行なえていない状態での乗車は、自転車の破損につながり、乗員の怪我や死亡に至る事故の原因となる場合があります。

修理やメンテナンス

自転車のユーザーはメンテナンスを行うにあたり、特別な工具、知識を必要としません。修理や工具を必要とするメンテナンスについては、DAHON 製品販売店にて行っていただくようお願いいたします。

乗車初期のメンテナンス

乗車初期に適切なメンテナンスを行う事により、自転車の寿命を延ばす事が可能になります。変速機やブレーキ等のワイヤー関係は使用を始めた初期段階で初期伸びを起こす場合があります。また、車輪のスポークについても初期振れが出る場合がありますので、このような場合は販売店にて再調整を行うようお願いいたします。使用を始めた後、異常がない場合でもアキボウ取扱説明書に記載されている、点検調整チェックリストに則り、2か月以内の点検・調整を行ってください。その後も、ハードな使用条件では3～5時間ごと、通常の使用条件でも10～15時間ごとに上記チェックを行ない、異常がある場合は乗車を止め、販売店に持ち込み点検を受けてください。

長時間の走行や悪条件下での走行後

雨や泥などにさらされた場合や、長時間にわたる走行後は、チェーンをクリーナー等で清掃した後、専用の潤滑剤をチェーンに注油してください。(余分な油は汚れの原因になりますので拭き取ってください。注油のタイミングは走行時の天候や、路面状況等によって変わってきます。誤った潤滑油は車体などの塗装面やプラスチックパーツを痛める恐れがあります。専用潤滑油の種類や、注油のタイミングについては、販売店にご相談ください。

長時間や悪条件下の走行後、または乗車時間が10～20時間を超えた場合

前ブレーキを間かせた状態で自転車を前後に揺らしてください。前後に揺らす度に異常な音が出たり、手にゴツンという感覚が出る場合、ヘッドセットが緩んでいる可能性があります。前輪を持ち上げ、ハンドルを左右に動かした場合に操作が硬くなっていたり、ゴツゴツとした感覚がある場合、ヘッドセットの締め付けが過剰になっている場合があります。ヘッドセットにこのような以上がある場合は、販売店にて調整を行ってください。

ブレーキパッドが摩耗したり、リムに対して適正に接触していない場合、適正な制動力が得られない可能性がありますので、販売店にて調整、交換をお願いします。ブレーキケーブルに錆が発生していたり、断線箇所がある場合や、動きが悪い場合は販売店にて調整、交換を行ってください。車輪のスプークの張り具合指先でチェックし、弱い所や強い所がある場合、販売店にて調整を行ってください。車体に取り付けられているすべてのパーツ、アクセサリが適正に取り付けられている事を確認してください。車体を構成しているパーツを交換する場合は、DAHON 製品販売店にて DAHON 社が認定するパーツを使用してください。フレームやハンドルステム、ハンドルバー、シートポスト等に大きな傷やひび割れ、変色が無いかの点検を行ってください。特に金属の溶接部分やその周辺を入念に点検してください。点検によって異常がある場合は、販売店にて詳細な点検を行ない、交換等の対策を行ってください。



警告：

一般の工業製品同様、自転車を構成しているパーツは摩耗や経年変化により破損する恐れがあります。破損に至るまでの時間は、パーツの材質や使用箇所によって異なります。定期的な点検、メンテナンスを行わないで使用を続ける事により、突然構成パーツが破損し、重大な怪我もしくは死亡に至る場合があります。

製品の傷、ひび割れ、断線、変色等はパーツが疲労している兆候を表しており、交換を行う必要がある事を意味しています。個別に保証書が付いているパーツは製造メーカーが規定する保証規定に基づき品質保証がなされますが、その他のパーツにつきましては弊社の定める品質保証規定を適応させていただきます。ただし、製品の寿命は走行環境や保管状況、乗車人員の取り扱い方等により大きく左右されますので保証期間内であっても製品が破損する場合もあります。弊社は取扱い説明書に記載された保証内容については製品の品質を保証いたしますが、それ以外についての品質保証は行なえない場合があります事をご了承ください。



品質保証

日本国内にて販売されている DAHON 製品につきましては、購入日より1年間の品質保証を行います。但し、サスペンション関連パーツ等、個別に保証書が添付されているパーツはその保証書に記載された保証内容となります。品質保証は不具合のあるフレームやフォーク、各構成パーツのみに適応され、自転車全他の交換を行う事は致しません。品質保証は、保証書に記載された最初の所有者に限定され、譲渡や転売により所有者が変更された場合は適応されません。また、日本国内にて販売された製品は、日本国内でのみ品質の保証がなされます。下記については品質保証の対象外となります。

- ※ 通常使用による摩耗、破れ
- ※ 不適切な組立、調整
- ※ 不適切なメンテナンスを行った場合
- ※ 車体やパーツの改造
- ※ 車体、もしくは構成パーツの DAHON 社認定品以外への変更
- ※ DAHON 社認証パーツ以外のパーツおよびアクセサリーの追加
- ※ 事故による損傷
- ※ 誤使用による損傷
- ※ 商業目的の利用による損傷
- ※ 競技中に生じた損傷
- ※ その他、DAHON 社が品質保証適応外と判断する場合

保証の更新

フレーム、ハンドルポストおよび頑丈なフォークの保証は、もともとの所有主がオンライン登録フォームに記入した場合に更新できます。ユーザーのDAHON保証を有効にするには、ユーザーの製品を www.dahonbikes.com に登録します。このとき、登録確認メールおよび最初の購入の証明書が将来の保証問題のための所有の証拠として利用できます。基本保証の除外は、拡大保証にも適用されます。

品質保証の方法

品質保証を行う場合、販売店名、販売日時、商品名、車体番号、所有者名等が記載された弊社発行の品質保証書を添付の上、品質保証書記載の販売店にお持ちください。なお、品質保証書が無い場合は一切の品質保証が受けられません事、ご了承ください。



各部品の締め付けトルク値



Handlebar, Headset, Saddle, and Seat Post			
Component	in•lbs	Newton Meters (Nm)	kgf•cm
Dahon large hex key headset screw (10mm)	52~87	6.8~11.3	60~100
Dahon handlepost clamp screw (6mm)	87	11.3	100
Stem steer tube binder bolts; threadless headset	115~145	13~16.4	132~167
Dahon threadless innite adjustable stem h/bar clamp	44~53	5~6	51~61
Dahon threadless innite adjustable stem rear stem clamp	62~71	7~8	71~82
Stem handlebar clamp 1 or 2 binder bolts	175~260	19.8~29.4	201~299
Stem handlebar clamp 4 binder bolts	120~145	13.6~16.4	138~167
MTB bar ends, alloy	144	16.3	164
MTB bar ends, magnesium	70	7.9	81
Seat rail binder	156.3~182.3	18.0~21.0	180~210
Kore I-beam rail clamp	85	9.6	98
Stem screw	156.3~199.7	18~23	180~230
Stem inside screw	78.1~112.8	9~13	90~130

Brake-Rim and Disc and Brake Lever

Component	in•lbs	Newton Meters (Nm)	kgf•cm
Brake lever - MTB type	53~60	6~6.8	61~69
Brake lever - drop bar type (including STI & ERO types)	55~80	6.2~9	63~92
Disc rotor to hub (M5 bolts)	18~35	2~4	21~40
Disc rotor to hub (M965 rotor lockring)	350	39.5	402.5~
Disc rotor to hub (Avid)	55	6.2	63
Caliper mount	55~70	6.2~7.9	63~81

Crankset, Bottom Bracket and Pedal Area

Component	in•lbs	Newton Meters (Nm)	kgf•cm
Pedal into crank	307	34.7	353
Crank bolt - including spline and square type spindles	300~395	33.9~44.6	345~454
Crank bolt - one key release	44~60	5~6.8	51~69
Crank bolt - one key release (Truvativ)	107~125	12.1~14.1	123~144
Bottom bracket adjustable type	610~700	68.9~79.1	702~805
Bottom bracket cartridge type	435~610	49.1~68.9	500~702

Front and Rear Hubs; QR and Nutted Axles

Component	in•lbs	Newton Meters (Nm)	kgf•cm
Freehub body	305~434	34.5~49	35~499
Cassette sprocket lockring; disc brake lockring	260~434	29.4~49	299~499
Front axle nuts	180	20.3	207
Rear axle nuts to frame (non-quick release type wheels)	260~390	29.4~44.1	299~449

Handlebar, Headset, Saddle, and Seat Post

Component	in•lbs	Newton Meters (Nm)	kgf•cm
BAB lower frame coupling	35	4	40
BAB upper seat binder bolt	35~55	4~6.2	40~63
BB mid seat mast binder bolt	35~55	4~6.2	40~63
Kickstand mounting bolt	60	6.8	69
H2O cage mounting screw	25~35	2.8~4	29~40
Frame front or rear rack braze-on bolt torque	25~35	2.8~4	29~40
Fender to frame mounting bolt torque	50~60	5.6~6.8	58~69

トルク値を変換する場合の公式

$$\text{in}\cdot\text{lb} = \text{ft}\cdot\text{lb} \times 12$$

$$\text{in}\cdot\text{lb} = \text{Nm} \times 8.851$$

$$\text{in}\cdot\text{lb} = \text{kgf}\cdot\text{cm} / 1.15$$



Headquarters
Dahon North America INC.
833 Meridian Street
Duarte CA 91010
+1 800 442 3511

OWNER'S MANUAL

Dahon Technologies, Ltd.
Dahon Bldg, Furong 6th
Rd., Shajing
Shenzhen, 518125, P.R.C
+86 755 27249136

Dahon Europe
No.1 P.O. Box 17,
Goliamokonarsko Shosse Str.
Tsaratsovo Village, 4027, Bulgaria
+359 32335 598

www.dahonbikes.com

© 2012 Dahon North America